

店舗を構えるあなたが  
自社ホームページで

# 集客

するための  
のポイント

24

2006年から実店舗ホームページを集客  
できるように改善してきたSEO・集客  
コンサルタントが明かす、あなたが  
今すぐ直すべき問題点はここだ！



## まえがき

「今のホームページに大きな不満はないが、出費は抑えつつ、もっと集客できるようにしたい」という方のために、あと数年は使い続けられるようにする方策を用意しました。

1. ホームページの外観やデザイン
2. 個々のページに掲載する内容
3. その他 SEO（検索エンジン最適化）
4. ホームページやサーバー周りの機能

の 4 つに分かれておりますので、ぜひお役立てください。

## 目次

まえがき .....	2
I. ホームページの外観やデザイン .....	6
1. ホームページをスマホで見やすくしましょう .....	7
2. スマホサイトから問合せや予約をしやすいようにしましょう .....	9
3. メニューを使いやすく・分かりやすくする .....	12
4. 文字サイズやフォント、色の見直しを .....	14
サイズ： .....	14
フォント： .....	14
色： .....	15
見た目の設定を一気に削除する方法 .....	15
II. 個々のページに掲載する内容 .....	16
5. 1 ページの情報量は多すぎず少なすぎず .....	17
6. 段落と文章をできるだけ短くする .....	18
7. 箇条書きや表を活用する .....	19
8. 難しい漢字や、なじみの薄い表現を避ける .....	20
9. 記事の内容を別人にチェックしてもらう .....	21
10. 検索語についての文章を増やす .....	22

11. 写真やイラストを入れましょう .....	23
載せる写真やイラストの注意点 .....	23
12. 動画は自動再生させず、読込も遅らせる .....	24
III. その他 SEO（検索エンジン最適化） .....	25
13. タイトルタグの記述を見直す .....	26
14. パンくずリストを設置する .....	28
15. 文中に見出しタグを設置する .....	30
16. 全ページに屋号・住所・連絡先を掲載する .....	32
17. ページのヘッダー部分を少なくする .....	34
18. Google にインデックスされていない記事はリライト .....	36
19. ブログ記事の下に関連記事を表示させる .....	37
20. 文中にほかのページへのリンクを貼る .....	38
IV. ホームページやサーバー周りの機能 .....	39
21. SSL 対応をさせましょう .....	40
22. ホームページの表示速度を早くしましょう .....	41
23. WP の利用に必須の PHP や MySQL を常に最新版に .....	42
24. WordPress 本体やプラグインも最新版にしましょう .....	43
▼メジャーアップデート： .....	43

▼マイナーアップデート： .....	43
あとがき .....	47

## **I. ホームページの外観やデザイン**

## 1. ホームページをスマホで見やすくしましょう

「スマホってガラケーより画面が大きいから、パソコン用のホームページをそのまま表示できるでしょ」

「うちの賞品・サービスは企業向けだから、みんなパソコンでホームページを見るよ」

などと思っておられないでしょうか？

スマホでパソコン用ホームページを見て違和感を覚えないのは、携帯からスマホに買い換えた直後だけです。

今はスマホで見やすく作られたホームページが山ほどあるので、すぐに「パソコンサイトだと、文字や画像が小さくて見にくいし、タップ操作がしにくい」となります。

それに、企業向けの業種でもスマホで検索してホームページを見る人が半数近くになっています。消費者向けはスマホでのアクセスが全体の3分の2から4分の3くらいになっています。

(※[当会調査による](#))

さらに、**Google** は検索順位を決めるのに長年「パソコン用ホームページ」の内容を参考にしていたが、**2018** 年に「今後はスマホ用ホームページの内容を参考にする」という方針に切り替えました。

つまり、これまでは「パソコンが主、スマホが従」だったのが逆転して「スマホが主、パソコンが従」になったのです。

だったらスマホ用ホームページを新たに作らないといけいないのか？　というと、そうではありません。パソコン用ホームページがスマホに対応できていれば良いのです。

Google が用意している [モバイルフレンドリーテスト](#) というページで、ホームページがスマホ対応されている（＝モバイルフレンドリー）かどうかを調べられます。

このテストで自社ホームページが「モバイルフレンドリーではありません」と出るようでしたら、ぜひこの機会に自社ホームページをスマホでも見やすくしましょう。

ただ、自力で既存のホームページをスマホ対応させるのは至難の業です。新しくスマホ対応ホームページを作るより難しいでしょう。

当会では既存のホームページを安価でスマホ対応させるサービスを行なっていますので、ぜひご検討ください。

- ・ HP スマホ対応サービス

<https://www.localnavi.biz/sp.html>



## 2. スマホサイトから問合せや予約をやすくしましょう

一見するとスマホ対応ができているホームページでも、お客様からすると「問合せや予約をどうやってすれば良いか分かりにくい」場合があります。

パソコンサイトなら、ページ上部に電話番号を載せておけば、それを見ながらスマホで電話ができます。しかしスマホでホームページを見ている場合は、

1. スマホのブラウザでホームページを見る
2. 電話番号をメモまたは記憶する
3. 電話アプリを起動させる
4. 電話番号を押して電話を掛ける

という面倒な作業を強いられます。せっかくスマホには電話を掛ける機能があるので、タップするだけで電話できるようにしましょう。

画像や電話番号の文言をリンクにするだけです。リンク先 URL は

**tel:012-345-6789**

のように、すべて半角文字にしてください。

問合せフォームも、もしなければ用意してください。下記のサイトで無料のフォームを作れますので、そちらを使うのも手軽で良いです。

・フォームズ

<https://www.formzu.com/>

- ・ フォームメーカー

<https://www.form-mailer.jp/>

WordPress の場合でしたら、**Contact form7** プラグインなどを使うこともできます。

- ・ **Contact form7** プラグイン

<https://ja.wordpress.org/plugins/contact-form-7/>

フォームの項目は、できる限り絞り込んでください。理想は

- ご氏名
- メールアドレス（確認用入力欄は不要）
- 用件

のみですが、必要な項目がほかにあれば追加してください。ただし、項目数が増えるほど、書くのが面倒になるため問合せは減ります。

また、消費者向けの業種でしたら **LINE** で問合せができるようにしましょう。日本人の半分以上が使っているメッセージアプリです。

個人アカウントで受け付ければ手軽ですし、個人アカウントは公開したくないなどの理由があれば **LINE** 公式アカウントで受け付けても良いでしょう。

とあるお店では、問合せや予約はほとんどが **LINE** に来て、電話もフォームもほとんど使われなくなったとのこと。

「電話」「フォーム」「**LINE**」の 3 つのボタンを、ページ上部に固定しておけば、いつでもお客様が問合せや予約できるようになります。

WordPress の場合、My Sticky Menu プラグインを使えば、ページ上に固定メニューを表示させられます。

- ・ My Sticky Menu プラグイン

<https://ja.wordpress.org/plugins/mystickymenu/>

上記プラグインでの設定方法が分からない・見た目などが気に食わない・WordPress を使っていないなどの場合は、当会で固定メニューの設置を承ります。

- ・ スマホ用ホームページに固定メニューを追加します

<https://www.localnavi.biz/sp/service-sp/spmenu.html>

### 3. メニューを使いやすく・分かりやすくする

もし各ページのタイトル下など目に付きやすい位置にメニューがないなら、ただちにメニューを追加しましょう。

すでにメニューがある場合でも、基本的な項目

- 商品やサービスの紹介（料金を含む）
- サービス利用の流れ
- 支払方法
- 店舗の地図や行き方
- 営業日時
- スタッフ紹介

が、メニューを見て分かるようになっているかをチェックしましょう。メニューの項目名を見たら、そこに何が書いてあるかすぐにわかるでしょうか？

「うちのホームページは情報が多いからメニューに載せきれないよ」

という方もいるでしょう。その場合でも、プルダウンメニューを使うなどして、主だった内容はメニューに載せてください。

載せきれない内容はフッターメニューに載せるか、関連性が高い主要ページからリンクを張るようにしましょう。

くれぐれも「自社ホームページに興味を持ったら全ページくまなく探してくれる」などと期待してはいけません。

多くの方は、必要な情報を求めて、わかりにくいホームページ内を苦労して探し回ったりはしません。ほかにも候補はありますから、すぐに【戻る】ボタンをタップして、検索結果の画面に戻ってしまいます。

むしろ「メニューを見て探そうという意欲があるお客様はありがたい存在だ」と思っておいてください。そういう方を追いつかないようなページ作りを心がけましょう。

## 4. 文字サイズやフォント、色の見直しを

自分でホームページを作る際に、ついついやってしまうのが「文字サイズやフォント、色をあれこれ変えたくてしまう」ことです。もしかすると人間の本能なのかもしれません。

しかし、自分がやるのは楽しいですが、文字サイズやフォント、色がバラバラなページを見せられる方は読みにくいだけです。シンプル・イズ・ベストを心がけましょう。

### サイズ：

見出しは本文より大きめ。本文は強調したい少数の箇所以外は同じサイズに。

また、メニューは本文と同サイズかやや小さいくらい。

パンくずリストやフッターの著作権表示などは本文よりさらに小さくて良いです。

### フォント：

画面では明朝体よりゴシック体が読みやすいです。

また、スマホやパソコンの OS などによって使用できるフォントが違うため、細かいフォント指定は避けるのが無難。

どうしても特定のフォントが使用したい場合はネット上で使用できるウェブフォントを使います。たとえば Google フォントなら日本語のフォントもあり、すべて無料で使用できます。

・ Google フォント

<https://googlefonts.github.io/japanese/>

## 色：

色が多すぎると見る人が疲れますし、センス良く多色使いするのは素人には難しいものです。背景色・文字色プラスあと 1 色か 2 色まで削りましょう。

色の組み合わせでホームページの雰囲気が大きく変わります。配色パターン 81 サンプルで用途に合う配色パターンを調べて、ご自身のイメージに合う物を使うことをおすすめします。

・配色パターン 81 サンプル

[https://www.tagindex.com/color/color\\_pattern.html](https://www.tagindex.com/color/color_pattern.html)

もろもろの見た目の設定を一気に削除するには、以下の方法で行なってください。

## 見た目の設定を一気に削除する方法

### **ホームページビルダー：**

見た目の設定を削除したい文字列・文章を選択しておいて、画面上のメニューで【書式】→【フォント属性の解除】をクリックします。

### **WordPress：**

見た目の設定を削除したい文字列・文章を選択しておいて、編集フォーム上のメニューにある【消しゴムマーク（書式設定をクリア）】をクリックします。

## **II. 個々のページに掲載する内容**



## 5. 1 ページの情報量は多すぎず少なすぎず

ニュースサイトなどで「1 ページで済むくらいの文章量のニュースを何ページにも分割する」手法がしばしば見られます。

ホームページの閲覧数を増やしたい（五ページに分割すれば単純計算で閲覧数は五倍になります）だとか、1 ページあたりの文章量を減らして読みやすくななどの意図があるようです。

しかし、業務用ホームページを作るときには、これを真似してはいけません。「ページ数の水増し」とみなされて **SEO** には不利になります。

そうでなくとも、ちょっと読んだら次のページにアクセスさせられるのはうっとうしいものです。途中で読むのを止められたら本末転倒です。

また、逆に 1 ページにあれもこれも詰め込みすぎるのも良くありません。

1 つのページには 1 つのトピックのみ書く事をオススメいたします。

## 6. 段落と文章をできるだけ短くする

一文を長々と書くと、文章の意味を取るのが難しくなります。一文に述語はひとつだけにしましょう。そうすれば、自然に文は短くなります。

また、ページを開いた時に文字がミッチリ詰まっていると、読みにくい以前に読む気が失せてしまう人が多いです。そうならないように、段落を細かく区切っています。

パソコンで見た時には文章が詰まっている感じがしなくとも、スマホのような小さな画面で見るとミッチリ詰まって見えることがよくあります。

必ず、スマホでもホームページやブログを確認してください。

## 7. 箇条書きや表を活用する

たとえば「肩こりを予防するコツ」が 5 つあるとします。

肩こりを予防するには、●●や××のほか、△△や□□も効果的で、さらに☆☆を毎日続けてください。

のように地の文で 5 つのコツを書き連ねるよりも、

肩こりを予防するコツは次の 5 つです。

1. ●●
2. ××
3. △△
4. □□
5. ☆☆

と箇条書きにする方が頭に入りやすいです。

## 8. 難しい漢字や、なじみの薄い表現を避ける

手書きだと知らない漢字は書けませんが、パソコンやスマホでは日本語変換で知らない漢字が書けてしまいます。そのため、不必要に漢字を多用してしまいがちです。

分からない言葉をいちいち調べたり、推測したりしながら読んでくれる人は少ないですので、**難しそう**な漢字はひらがなにするのが無難です。

また、同業者や研究者向けに書いている文章でなければ、**業界用語や専門用語**もなるべく避けてください。

**英語やフランス語、韓国語などの外国語**も、できる限り避けるべきです。読めない語句が混じっているだけで人は読むのを止めてしまいます。

## 9. 記事の内容を別人にチェックしてもらう

書いた記事を読み返しても、足りない部分や悪い部分はなかなか目に付きません。かくいう私も、メルマガを送信する前には、文面チェックを受けております。

原稿を読み返して「問題なし」と判断したところでチェックを頼んでいるのに、読んでもらうと色々問題が出てくるものです。

- 説明が足りない
- 誤読される
- くどい
- 言葉が乱暴
- 文章のつながりがおかしい

チェックしてもらわなかったら気付かず配信していたところですので、別人の目でチェックするのは有益です。家族やスタッフに読んでもらいましょう。

チェックしてくれる人が周りにいないという場合は、印刷して読み返してください。ディスプレイから紙に変わるだけで気持ちが切り替わるので、間違いや問題に気付きやすくなります。

## 10. 検索語についての文章を増やす

たとえば、「斑鳩町の整体院」ホームページなのに、斑鳩町や関連する語句が文中にほとんどないとします。このホームページが「斑鳩町 整体」で上位に出るのは難しいでしょう。

検索エンジンのプログラムに言わせれば  
「斑鳩町のこと書いてないじゃないですか」  
となりますから無理ありません。

だからといって見境なしに「斑鳩町」を追加すると、SEO スパムと見なされる恐れがあります。

そこで、「斑鳩町」と関連する語句も載せるようにしましょう。  
たとえば、以下のような語句があげられます。

- **町内の有名な場所**：法隆寺・竜田川など
- **町内の地名**：龍田・興留など
- **近所の町名**：王寺・三郷・大和郡山など

この辺の単語は、所在地の説明を載せたり、お客様の感想を載せたりすれば出てくるものです。

単語を無理やり追加するのではなく、「関連する語句が出てくるような文章」を考えてみてください。

## 11. 写真やイラストを入れましょう

文章がひたすら続くと、特に文章を読み慣れていない方は途中で挫折しやすくなります。文章がミッチリ詰まっているだけで読む気が失せる人も少なくありません。

そこで、ところどころに写真やイラストを載せることで見た目にメリハリをつけて、読み続けやすくしましょう。

### 載せる写真やイラストの注意点

- 他人の写真やイラストを載せる場合、作成者の著作権や利用条件を尊重する
- ホームページの見た目に統一感を出すために、なるべく同じ人のイラストを使う（ありとあらゆるイラストがそろっている[いらすとや](#) が非常に重宝するのは、これが大きいです）
- 掲載する画像（特にデジカメ写真）は、実際にホームページに掲載するサイズまで縮小させてから掲載する（でないとページの読み込みが遅くなる）
- 逆に画質が悪すぎる・サイズが小さすぎると画像に何が描いてあるのかが分からず、見る人にストレスがかかります。特に図表は、スマホの画面でも内容が読めるサイズで掲載しましょう。
- 写真やイラストは数が増えると読み込みに時間がかかります。そうならないために、img タグには「loading="lazy"」という読込を遅らせる指定をしておきましょう。

※ただし、最近の WordPress は標準で指定してくれます。

## 12. 動画は自動再生させず、読込も遅らせる

動画が自動再生されるページは、大きな画像以上に通信料の負担が増えますし、見たくもない動画を勝手に再生されるのも困ります。

動画を掲載する際は、自動再生は決してさせないでください。

また、動画も画像よりもはるかに読込に時間がかかります。そこで、`iframe` タグや `video` タグには「`loading="lazy"`」という読込を遅らせる指定をしておきましょう。

※ただし、最近の WordPress は標準で指定してくれます。



### **III. その他 SEO（検索エンジン最適化）**

### 13. タイトルタグの記述を見直す

タイトルタグの文言は、下図のようにブラウザのタブの部分に表示されます。



ブラウザのタブだけでなく検索結果にタイトルがそのまま表示されることがよくあります。

ページを SNS でシェアする場合に表示されるのもタイトルの文面です。

検索エンジンのプログラムも、SNS を見る人も、タイトルで「そのページにどんな事が書いてあるだろうか？」と判断します。

タイトルから期待した内容と実際の内容とが違っていたら読み進めてはもらえませんし、検索順位にも確実に悪影響が出ます。

実際のページ内容と違う扇情的なタイトルは論外ですが、読んでもピンと来ないようなタイトルもダメです。

各ページのタイトルは、そのページに書いてある内容が端的に分かるように付ける必要があります。

「このページには●●について書いてあるのだな」

くらいの推測が、タイトルを見ただけでできるようにしましょう。

また、「アクセス」「業務案内」と一言しか書いていないタイトルも良くありません。

- ・アクセス：●●市の××整体院
- ・業務案内：●●市の××行政書士事務所

のように屋号・社名も後ろに付けておくと親切で、SEO にも有利です。

## 14. パンくずリストを設置する

パンくずリストとは、本文の冒頭などにある「今自分は HP 内のどのあたりにいるのかを示すための道しるべ」です。

※由来は「ヘンゼルとグレーテル」で、帰り道が分かるようにと、ヘンゼルが歩きながら落としたパンくず。



たとえば、上図の場合ですと「地元密着なび内のメルマガのバックナンバー、ホームページに関する記事」だと分かります。

ホームページにアクセスした人だけでなく、検索エンジンのプログラムにとっても「ページとページのつながりやホームページの構造」が分かりやすくなります。

そのため、SEO にも有利になりますので、パンくずリストをぜひ設置してください。

WordPress の場合は、Breadcrumb NavXT プラグインを使うのが良いでしょう。

・Breadcrumb NavXT プラグインの使い方(パンくずリストの表示)

<https://www.javadrive.jp/wordpress/plugin-list/index16.html>

## 15. 文中に見出しタグを設置する

タイトルタグが「このページには何かが書いてあるか」を示すのに  
対して、見出しタグは「これから先の文章には何かが書いてあるか」  
を示します。

見出しなしで文章がひたすら書き連ねてあると、特にスマホでは  
読みにくいものです。

たとえば、ビジネス書や自己啓発書では、かなり細かく章分けを  
してあります。その方が読み進めやすく、どこまで読んだのかも分  
かりやすくなります。

「ここの部分が気になるから読んでおこう」

みたいな事もしやすいので、読む側にとってメリットが大きいで  
す。

小まめに見出しを付けて、文章を読み進めやすくしましょう。

それに、見出しを入れることで自然に検索キーワードを追加でき  
ますので、SEO にも有利になります。

さらに、WordPress の Easy Table of Contents プラグインを使え  
ば、文中の見出しを使って自動的に目次を作れます。

・ Easy Table of Contents プラグイン

<https://ja.wordpress.org/plugins/easy-table-of-contents/>

作られた目次から各見出しにリンクが貼られて、サイト内リンク

が増えます。

そうすると SEO にも多少有利になりますので、WordPress を使っている方は利用してはいかがでしょうか？

## 16. 全ページに屋号・住所・連絡先を掲載する

みんながみんな、トップページにアクセスしてくれるわけではありません。検索エンジンや SNS の投稿から、個別ページやブログ記事を訪れる方もいらっしゃいます。

そんな方がページを読んで

「問い合わせしてみようかな」

「訪ねてみようかな」

となった時に、すぐ電話番号や住所が見付かるようになっているのでしょうか？

連絡先や住所が「弊社について」ページにしか書いてないということはありますか？

そうならないように、全ページに「屋号・住所・連絡先」を載せておきましょう。

連絡先は御社で対応できるすべてのものを載せておくと、お客様が便利で良いです。

- ・電話番号
- ・メールフォームへのリンク
- ・LINE アカウントへのリンク

先に書いたように、電話番号は、タップで電話がかけられるようにリンクにしましょう。リンク先 URL を

**tel:000-000-0000**

のように書きます。



なお、「屋号・住所・電話番号」の 3 つはローカル SEO (MEO) では非常に重要な要素とされています。

ホームページや Google マップからの集客をしたい方は必ず載せましょう。

## 17. ページのヘッダー部分を少なくする

たとえば、スマホでホームページを開いた時に、下図のように

「ヘッダーメニューとタイトル画像」

だけしか表示されていないとしましょう。



ページのタイトルや本文は画面の下に追いやられて表示されませんので、リンクをタップして別ページを開いても、

「あれ、同じページをまた開いた？」

と勘違いさせる恐れがあります。

そして SEO の点でも、ページを開いた時点で記事タイトルや本文が見える方が望ましいです。

Google の収入はほぼすべてが広告収入です。

収入を増やすには、検索結果などに載せる広告の露出とクリックを増やす必要があります。

そのために、多くの人に Google 検索をもっと利用してもらわないといけません。

Google 検索の利用を増やすために、検索の精度を高めつつ、利用者が不満を持ちそうなページの順位を下げています。

「どのページを開いても見た目が同じ」というのは、見る人の満足度が下がりますので、Google にとっても厄介者です。

ページ内容と関係ない部分で順位を下げられないためにも、タイトル画像や冒頭の文言などはコンパクトにしましょう。

## 18. Google にインデックスされていない記事はリライト

すでに十分な記事数がある場合は、新しい記事を書くのと並行して、インデックスされていない記事への対処をしましょう。

1. サーチコンソールの【カバレッジ】をクリックします。
2. 切り替わった画面の棒グラフの上にある【除外】をクリックします。
3. 【クロール済み - インデックス未登録】をクリックします。
4. URL を 1 つずつクリックして、内容を充実させたり、古い記述を書き換えたりします。
5. お知らせなど「掲載しておく必要がない記事」は、削除してしまってください。

## 19. ブログ記事の下に関連記事を表示させる

SNS などで紹介されていたブログ記事を 1 つ読んだ後に、記事の下で別の記事が紹介されていることがあります。

元の記事に良い印象を持っていれば、ほかの記事も読み進めてしまいがちです。

記事をいくつも読んでいくうちに、

「この人は信用できそうだ」

とっていただければ、問い合わせや来訪につながる可能性があります。

とはいえ、自力でブログ記事の後に関連する記事のリンクを載せていくのは大変です。こういう作業は自動化しましょう。

WordPress の場合は、下記ページで紹介されているプラグインがオススメです。

・【ワードプレス】回遊率を上げる関連記事プラグイン

<https://bit.ly/3vf1jPh>

## 20. 文中にほかのページへのリンクを貼る

ブログ記事やホームページに関連のあるページがあるのでしたら、記事の一番下よりページの途中にリンクを載せておきましょう。

上で紹介したプラグインが、「この記事もぜひ読んでもらいたい」という記事を掲載してくれる保証はありません。

また、ページ下よりも文章の途中にあるリンクの方が目立つのでタップされやすいという効果もあります。

## **IV. ホームページやサーバー周りの機能**

## 21. SSL 対応をさせましょう

パソコン・スマホとサーバーとの通信を覗き見・改ざんされないようにするのが SSL 対応です。

数年前に SSL 対応に必要な SSL 証明書が無料＆簡単に導入できるようになって、一気に普及しました。

ほとんどのブラウザでは、SSL 対応がされていないとアドレス欄で

【保護されていません】

【安全ではありません】

などの警告が出ます。

こんな表示が出ていたら不安に思われますので対処が必要です。

ほかにも、SEO で少し有利になるなどのメリットもありますので、SSL を導入していない方はぜひ。

・ 自社ホームページの SSL 対応

<https://www.localnavi.biz/hp/service-hp/ssl.html>



## 22. ホームページの表示速度を早くしましょう

ホームページにアクセスしてから表示されるまでに時間がかかると、多くの人は待たずに【戻る】ボタンをタップしてしまいます。

「表示が遅いページは見てもらえない」というのは昔からそうだったのですが、2015 年に Google 検索では「表示が遅いページは順位を下げる」ようになりました。

自分のページは見慣れていて、表示速度を客観的に判断しにくいものです。そこで、Google の下記サービスで表示速度をチェックしてみてください。

- ・ PageSpeed Insights

<https://pagespeed.web.dev/>

これで赤信号が出るようでしたら対策が絶対に必要です。黄信号の場合も対処をした方が良いでしょう。

当会では、見た目そのままでホームページの表示速度アップを承っておりますのでご相談ください。

- ・ ホームページの表示高速化サービス

<https://www.localnavi.biz/sp/service-sp/psisupport.html>

## 23. WP の利用に必須の PHP や MySQL を常に最新版に

WordPress は、PHP というプログラム言語で書かれており、MySQL というデータベースにページの内容などを保存しています。

PHP は年に 1 回ペースで、MySQL は 2～3 年に 1 回ペースで、それぞれ新しいバージョンに切り替わる傾向が見られます。

PHP も MySQL も、新しいバージョンの方が処理速度は早くなるので、WordPress で運営しているホームページの表示も早くなります。

また、バージョンアップの際にセキュリティ対策も施されています。

ホームページを改ざんされたり、マルウェアを仕込まれたりしないように、PHP や MySQL も最新版を使うようにしてください。

多くのレンタルサーバーでは、管理画面で簡単にアップデートできます。しかし、自分で行なうのは不安だという方のためにアップデート代行を承ります。

- ・ PHP や MySQL のアップデート

<https://www.localnavi.biz/hp/service-hp/phpmysql.html>

## 24. WordPress 本体やプラグインも最新版にしましょう

WordPress のバージョンアップは、以下の 2 つに分けられます。

### ▼メジャーアップデート：

機能の追加・変更など大規模な更新。

5.7.2 から 5.8、4.9.15 から 5.0 のように、2 つ目の小数点より左の数字が変わる場合。

### ▼マイナーアップデート：

不具合の解消など小規模な更新。

5.7.1 から 5.7.2 のように、2 つ目の小数点より右の数字が変わる場合。

メジャーアップデートの場合、まれにトラブルが起こります。その際の対処法は以下の通りです。

- テーマやプラグインを最新版にする
- 最新版にしても解決しない場合は、WordPress を更新前のバージョンにダウングレードする

ダウングレード専用のプラグインがあるので、管理画面にアクセスできる場合はこちらが便利です。

・WordPress のダウングレードはプラグインを使えば超簡単

<https://tanweb.net/2019/11/14/29478/>

- 不具合の原因になっているプラグインを削除して、同じ機能の別のものに替える

何年も更新されていないプラグインが原因の場合、対処してくれることは期待できません。

同じ機能を持つ、もっと頻繁に更新しているプラグインに乗り換えてください。

知らない間に WordPress 本体やプラグインが更新されて、

- HP が表示されない
- 見た目がガタガタになる

などの不具合が起こらないようにするには、WordPress 本体のメジャーアップデートやプラグインの自動更新を無効にしましょう。

メジャーアップデートだけは無視して、次のマイナーアップデート（たとえば 5.9.1）を待って、その時に手動で更新しましょう。

WordPress 本体は「マイナーアップデート」のみ自動更新を有効にする方がセキュリティ面で安全です。

※これは「更新をするな」という意味ではありません。あくまで、知らない間に自動更新に失敗して、ひどい目に遭わないための措置です。

各種更新は、WordPress の管理画面の【ダッシュボード】→【更新】ページを開いて、手動で行なってください。

更新設定専用のプラグインがありますので、下記ページを参考に導入 & 設定してください。

・WordPress 本体・プラグイン・テーマの自動更新を制御できる  
Advanced Automatic Updates プラグインの導入 & 設定方法

<https://www.localnavi.biz/archives/aau.html>

また、ウィジェット画面が今までと全然違うものになっているというご報告もいただきました。

これは不具合ではありません。WordPress5.8 で、ブロックエディタと同じ操作感のブロックウィジェットが新しく導入されたためです。

「もっと便利に操作できるように」と導入されたものですので、見た目や操作感に抵抗がなければそのままお使いください。

「使いにくいから元に戻したい」という場合は、下記の手順で Classic Widgets プラグインを導入すると元に戻せます。

1. WordPress 管理画面で【プラグイン】→【新規追加】をクリックします。
2. 画面の右上にある検索窓に【Classic Widgets】と書き込みます。
3. Classic Widgets プラグインが表示されますので、【今すぐインストール】ボタンをクリックします。
4. 少し待つとインストールが済んで【有効化】ボタンに変わります。

ますので、クリックします。

ウィジェット画面が様変わりしてお困りの方は、ぜひお試しください。

## あとがき

ここまでお読みいただき、ありがとうございます。

ここに書いた内容をもとに御社ホームページをチェックして、改善していただくことで、集客につながるホームページに改善できるものと信じております。

この電子書籍について嬉しいご感想をぜひお聞かせください。

- ・お問い合わせフォーム

<https://www.localnavi.biz/about/form.html>

書籍の内容は、メルマガ記事を再編集したものですので、最新の記事をチェックしたい方は、下記ページから購読申込をしていただければ幸いです。

- ・ブログ

<https://www.localnavi.biz/mag.html>

また、Twitter でもブログに載せていないノウハウを紹介することがございますので、フォローしていただければと思います。

- ・Twitter

[https://twitter.com/localnavi\\_biz](https://twitter.com/localnavi_biz)

それでは、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

地元密着なび・新谷貴司（しんたにたかし）